

安全データシート

作成日：2025/5/20

改定日：2025/5/20

バージョン：1

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ビニヨンゴールド 各色・各艶
供給者の会社名称 : 日亜ペイント株式会社
担当部門 : 技術部
住所 : 大阪府交野市幾野5-6-12

電話番号 : 072-892-6101
緊急連絡電話番号 : 072-892-6101
ファクシミリ番号 : 072-892-6105
作成日 : 2025/5/20

推奨用途及び使用上の制限

用途セクター[SU] : 工業使用
推奨用途 : コーティング剤および塗料、充填剤、接合剤、希釈剤
使用上の制限 : データなし

2 危険有害性の要約

GHS分類：

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分2A

発がん性：区分2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分2（呼吸器系 中枢神経系 血液系 腎臓）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分2（呼吸器系 腎臓 肝臓）

注：急性毒性経口の不明成分は10%。急性毒性経皮の不明成分は14%。急性毒性吸入（気体）の不明成分は6%。急性毒性吸入（蒸気）の不明成分は18%。急性毒性吸入（粉塵/ミスト）の不明成分は23%。水生環境有害性急性毒性の不明成分は68%。水生環境有害性慢性毒性の不明成分は69%。

GHSラベル要素：

絵表示



注意喚起語： 警告

危険有害性情報：

- ・強い眼刺激。
- ・発がんのおそれの疑い。
- ・臓器の障害のおそれ（呼吸器系 中枢神経系 血液系 腎臓）。
- ・長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系 腎臓 肝臓）。

注意書き：

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物/容器を(国際、国、都道府県、市町村の規則に従って)廃棄すること。

他の危険有害性：

3 組成及び成分情報

混合物

成分名	濃度 %	CAS No.	PRTR種類	労働安全衛生法-通知義務	毒物及び劇物取締法	化審法整理番号	化審法対象物質
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	0~0.3%	112-34-5	第15項を参照			2-422,7-97	優先評価化学物質
テキサノール	1.7~3.3%	25265-77-4					
エチレングリコールモノイソプロピルエーテル	0~0.8%	109-59-1				2-410	優先評価化学物質
C. I. Pigment Yellow 83	0~4.6%	5567-15-7					
C. I. Pigment Red 5	0~3.6%	6410-41-9					
2-ジメチルアミノエタノール	0~0.2%	108-01-0		●			
可塑剤	2.9~7.3%						
アクリル酸ソーダ	0~0.5%	52255-49-9					
アクリル樹脂	0~0.8%						
スチレンアクリル酸樹脂	13.0~32.8%						
C. I. Pigment Yellow 74	0~3.3%	6358-31-2					
エチレングリコール	0~2.0%	107-21-1		●		2-230	優先評価化学物質
ブチルセロソルブ	0~0.7%	111-76-2	第15項を参照	●		2-407	優先評価化学物質
酸化第二鉄（赤色酸化鉄）	0~7.2%	1309-37-1		●			
水	30.6~56.5%	7732-18-5					
パラフィンワックス	0~4.0%	8002-74-2		●			
添加剤	0.2~5.0%						

ジエチレングリコール	0~1.4%	111-46-6		●			
C. I. Pigment White 6	0~21.5%	13463-67-7		●			
プロピレングリコールモノメチルエーテル	0~2.8%	107-98-2		●			
硫酸バリウム	0~4.0%	7727-43-7		●			
水酸化アンモニウム	0~0.2%	1336-21-6		●			
酸化鉄水和物	0~6.3%	20344-49-4					
炭酸カルシウム	0~30.9%	471-34-1					
カーボンブラック	0~3.2%	1333-86-4		●			
C. I. Pigment Blue 15:4	0~4.0%	147-14-8		●			
C. I. Pigment Green 7	0~4.2%	1328-53-6		●			

濃度限界未満だがSDS作成濃度以上の成分：

2 - ジメチルアミノエタノール, 0.2%, 皮膚感作性区分1;

ジエチレングリコール, 1.4%, 生殖毒性区分2;

ブチルセロソルブ, 0.7%, 生殖毒性区分2;

4 応急措置

応急措置の描写**全般的な注意事項：**

疑わしい場合や症状が現れている場合は、医師に相談すること。

吸入した場合：

被災者を空気の新鮮な場所に移し、暖めて安静にさせること。呼吸困難または呼吸停止のときは、人工呼吸を開始すること。蒸気を吸い込んだ場合、中毒症状は数時間後に初めて現れることがあるので、必ず医者にかかること。

皮膚に付着した場合

直ちに以下のもので洗浄すること：

水とせっけん

熱い溶解物に触れた際には、（次のもの）で皮膚を手当てすること：

非該当

使用してはならない洗浄液：

データなし

眼に入った場合：

眼の刺激があれば眼科医にかかること。直ちに洗眼用シャワーまたは水で、注意深く念入りに洗い流すこと。

飲み込んだ場合：

直ちに医師の診断/手当てを受けること。被災者の意識があるときは、吐かせること。

飲み込んだ場合、直ちに（以下のものを）飲ませること：

データなし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

応急処置：自己防護に留意すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状**症状**

以下の症状が表われ得る：

頭痛 腹痛 めまい 吐き気

影響：

意識不明状態

医師に対する特別な注意事項：

症状に応じて処置すること。

特別な治療：

データなし

5 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤：

アルコール耐性の泡 二酸化炭素（CO2） 乾燥した砂

使ってはならない消火剤：

棒状注水

火災時の特有な危険有害性

危険有害な燃焼生成物：

二酸化炭素（CO2） 一酸化炭素

消火作業へのアドバイス

消火作業の保護具：

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。

その他のデータ：

汚染された消火用水は、分別して回収すること。 排水管や自然水系に流入させないこと。 安全に実行可能であれば、破損していない容器を危険区域から遠ざけること。 閉鎖空間で二酸化炭素を使用する場合は注意すること。二酸化炭素は酸素を置換し得る。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

人体に対する注意事項：

個人用の保護具を使用すること。

保護具：

適切な呼吸保護具を用いること。

緊急時の措置：

すべての発火源を除去すること。十分に換気をする。 人々を安全な場所に避難させること。

環境に対する注意事項：

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。 より広い面積への広がりを防ぐこと（例えば、堰き止めるあるいはオイルを遮断する）。 ガス漏れ、あるいは自然の水系、土壌、下水道に漏洩する際には、担当当局に連絡すること。

封じ込め及び浄化の方法・機材

封じ込めに関して

取り除くために適した材質：

砂 珪藻土

浄化にあたって

希釈あるいは中和のために適した材料：

データなし

他の項を参照：

安全取扱い： 参照箇所 第7項 廃棄物処理： 参照箇所 第13項 個人用保護具： 参照箇所 第8項

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

防護措置

安全な取扱いの為のアドバイス

忌避事項：

蒸気またはミスト/エアゾールの吸入 皮膚接触 目との接触

取り扱い時に充填するガス：

非該当

取り扱い時に充填する液体：

非該当

注意事項：

容器は、注意深く開いて取り扱うこと。換気のよい場所でのみ、使用すること。その材料は、むき出しの光源、炎、およびその他の発火源から離れた場所に限って用いること。人身用防護装備を身に付けること（第8章を参照）。製品を取り出した後は、必ず容器を密閉すること。

火災防止のための措置

湿潤状態を保持するための物質：

非該当

混合禁止物質：

酸化剤

隔離すべき物質：

可燃性物質 酸化剤

注意事項：

静電気対策を講じること。発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。熱源（例えば、高温の表面）、火花や裸火から遠ざけておくこと。慎重に取り扱うこと - 衝撃、摩擦、打撃を回避すること。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成する可能性がある。爆発の危険があるため、その蒸気の地下室、煙道、下水への流入を防ぐこと。製品は熱くなると、可燃性の蒸気を発生する。

エアゾールおよび粉塵生成を回避するための対策

充填、計量、サンプリング時に使用すべき装置：

データなし

以下のタイプの局所換気を用いること：

データなし

環境に対する注意事項：

マンホールや下水道は、製品が流入するのを防ぐこと。

特定の要求あるいは取り扱い規則：

製品を吸収したぞうきんを、ズボンのポケットの中に携行しないこと。

一般的な労働衛生上の注意事項：

皮膚、眼、衣服との接触を避けること。汚れが付着し、濡れた衣服は、脱衣すること。濡れた衣服は、再使用する前に、洗わなければならない。製品の取り扱い後、直ちに念入りに皮膚を洗浄すること。

保管

包装材料

容器または設備向けに適切な材料：

溶媒耐性のある材料

容器または設備向けには、不適切な材料：

データなし

共同貯蔵に関する注意事項

保管分類：

その他、潜在的な爆発性有害物質

混触禁止物質：

可燃性物質 酸化剤

保管条件に関するその他情報：

加熱すると、圧力上昇し破裂する危険がある。容器は破損から守ること。容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

ばく露限界値：

成分	CAS NO.	国	許容濃度		最大許容濃度		管理濃度	
			mg/m3	ppm	mg/m3	ppm	mg/m3	ppm
ブチルセロソルブ	111-76-2	JP			97	20		25
水酸化アンモニウム	1336-21-6	JP	17	25				

C. I. Pigment White 6	13463-67-7	JP	0.3					
-----------------------	------------	----	-----	--	--	--	--	--

生物学的限界値：

成分	CAS NO.	国	単位	限界値	パラメータ
ブチルセロソルブ	111-76-2	JP	mg/g creatinine	200	Butoxyacetic acid

ばく露制御**設備対策**

最初に： 取扱い設備は防爆型を使用すること。

物質/混合物の使用におけるばく露防止の関連対策：

屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。

取扱いの作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置する。

ばく露を防ぐための技術的な対策：

空気中の濃度を職業ばく露限界以下に保つため、局所排気と全体換気を行う。

個人用保護具**眼の保護具**

適切な眼の保護：

保護眼鏡 ゴーグル

注意事項：

手の保護具

適切な手袋の種類：

保護手袋

適した材料：

ブチルゴム

要求される特性：

耐溶剤性

注意事項：

前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護具：

化学物質耐性の安全靴 保護前掛け

要求される特性：

耐溶剤性

推奨される材料：

データなし

呼吸用保護具

呼吸用保護具が必要なケース：

暴露限界値の超過。 不十分な換気。 長期にわたる暴露。

経験的に呼吸用保護具が必要な作業：

データなし

適切な呼吸用保護具：

ABEK-P3 ABEK-P2

注意事項：

技術的な吸引または換気対策が、不可能もしくは不十分ならば、呼吸保護具を着用しなければならない。呼吸保護具は、製品を取り扱うとき、発生する可能性がある有害物質の最大濃度（ガス、蒸気、エアロゾル、粒子）に見合う等級のフィルターを使用すること。この濃度を上回るときは、自給式呼吸保護具を利用すること。使用前に、漏れ/透過がないかどうかを点検すること。

環境ばく露管理

ばく露を防ぐための技術的な対策

排気ガス洗浄に用いるフィルターのタイプ：

データなし

排ガス洗浄に用いる再生・削減技術：

データなし

排水に適用する化学処理方法：

中央生物学的排水処理 下水汚泥処理、例えば熱的汚泥減量 吸着

9 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	データなし
臭い	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	100.00℃～100.00℃
可燃性	データなし
爆発下限界・爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	非水溶性
n-オクタノール/水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	2338Pa
密度及び/又は相対密度	1.21±0.1
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10 安定性及び反応性

反応性：

熱に不安定。

安定性：

この混合物は、推奨される保存条件、使用条件、温度条件の下では化学的に安定である。

危険有害反応可能性

溶融した場合：

データなし

気化した場合：

容器破裂の危険

凍結した場合：

データなし

避けるべき条件

乾燥状態：

データなし

隔離された状態：

データなし

微細分散/噴霧/ミストの状態：

爆発危険性

暖めた場合：

爆発危険性 容器破裂の危険

光が影響する場合：

データなし

衝撃や圧力の影響を受けた場合：

爆発危険性 容器破裂の危険

空気流入の場合：

データなし

貯蔵時間を超えた場合：

データなし

貯蔵温度を超えた場合：

容器破裂の危険

混触危険物質**避けるべき物質：**

強酸化剤 酸化剤

危険有害な分解生成物：

熱分解により、刺激性の気体や蒸気が放出する可能性がある。

追加情報：

非該当

11 有害性情報

毒性学的影響に対する情報：

急性毒性 経口

ブチルセロソルブ(区分4)LD50 470mg/kg/水酸化アンモニウム(区分4)LD50 350mg/kg

急性毒性 経皮

ブチルセロソルブ(区分3)LD50 435mg/kg/エチレングリコールモノイソプロピルエーテル(区分4)LD50 1440mg/kg

急性毒性 吸入(粉塵/ミスト)

エチレングリコール(区分4)LC50 2.7mg/L

急性毒性 吸入(蒸気)

ブチルセロソルブ(区分2)LC50 450ppm/エチレングリコールモノイソプロピルエーテル(区分4)LC50 4000ppm/プロピレングリコールモノメチルエーテル(区分4)LC50 7395ppm/2-ジメチルアミノエタノール(区分3)LC50 1641ppm

皮膚腐食性/刺激性

ブチルセロソルブ(区分2)/エチレングリコールモノイソプロピルエーテル(区分2)/水酸化アンモニウム(区分1)/エチレングリコール(区分2)/2-ジメチルアミノエタノール(区分1)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

ブチルセロソルブ(区分2A)/エチレングリコールモノイソプロピルエーテル(区分2B)/ジエチレングリコールモノブチルエーテル(区分2A)/水酸化アンモニウム(区分1)/テキサノール(区分2B)/プロピレングリコールモノメチルエーテル(区分2B)/パラフィンワックス(区分2B)/エチレングリコール(区分2B)/2-ジメチルアミノエタノール(区分1)

皮膚感作性

2-ジメチルアミノエタノール(区分1)

発がん性

C. I. Pigment White 6(区分2)/カーボンブラック(区分2)

生殖毒性

ブチルセロソルブ(区分2)/ジエチレングリコール(区分2)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

酸化第二鉄(赤色酸化鉄)(区分1)/ブチルセロソルブ(区分1)/ブチルセロソルブ(区分3(麻酔作用))/エチレングリコールモノイソプロピルエーテル(区分1)/エチレングリコールモノイソプロピルエーテル(区分2)/ジエチレングリコールモノブチルエーテル(区分3(麻酔作用))/水酸化アンモニウム(区分1)/プロピレングリコールモノメチルエーテル(区分3(麻酔作用))/パラフィンワックス(区分3(気道刺激性))/エチレングリコール(区分1)/エチレングリコール(区分3(気道刺激性))/エチレングリコール(区分3(麻酔作用))

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

C. I. Pigment White 6(区分1)/酸化第二鉄(赤色酸化鉄)(区分1)/カーボンブラック(区分1)/ブチルセロソルブ(区分1)/エチレングリコールモノイソプロピルエーテル(区分1)/ジエチレングリコールモノブチルエーテル(区分1)/硫酸バリウム(区分1)/ジエチレングリコール(区分1)/2-ジメチルアミノエタノール(区分2)

物理的、化学的及び毒性学的特性に関する症状

経口摂取の場合：

データなし

皮膚接触の場合：

皮膚の脱脂作用がある。

吸入した場合：

吸入すると、吐き気、めまい、腹痛、頭痛などを引き起こす可能性がある。

追加他情報：

適切な呼吸保護具を使用すること。 保護衣服。 ゴム手袋。

12 環境影響情報

生態毒性：

107-21-1、エチレングリコール：

藻類：Selenastrum capricornutum(セレナストラム)EC50(mg/L)24,000(7-d)：増殖阻害，甲殻類：Daphnia magna(オオミジンコ)EC50(mg/L)18,000(48-h)：遊泳阻害 Ceriodaphnia dubia(ネコゼミジンコ)LC50(mg/L)1,390(48-h)，魚類：

Poecilia reticulata(グッピー)LC50(mg/L)16,000(96-h) Lepomis

macrochirus(ブルーギル)LC50(mg/L)27,540(96-h)

111-46-6、ジエチレングリコール：

藻類：Scenedesmus quadricauda(セネデスミス)EC50(mg/L)2,700(7-d)：増殖阻

害，甲殻類：Daphnia magna(オオミジンコ)EC50(mg/L)>10,000(24-h)：遊泳阻害，

魚類：Carassius auratus(キンギョ)LC5

0(mg/L)>5,000(24-h) Gambusia affinis(カダヤシ)LC50(mg/L)>32,000(96-h)

Pimephales

promelas(ファッドヘッドミノー)LC50(mg/L)75,200(96-h)

111-76-2、2-ブトキシエタノール：

藻類：Scenedesmus quadricauda(セネデスミス)EC50(mg/L)900(7-d)：増殖阻害

(LOEC)，甲殻類Daphnia magna(オオミジンコ)EC50(mg/L)1,720(24-h)：遊泳阻害，

魚類：Menidia beryllina(タイドローウオーターシルバーサイド)LC50(mg/L)

1,250(96-h) Lepomis macrochirus(ブルーギル)LC50(mg/L)1,490(96-h)

残留性・分解性：

107-21-1、エチレングリコール：

好氣的：良分解 BOD から算出した分解度83～96 %

嫌氣的：家庭排水と工業排水を処理している処理場の嫌気汚泥により、129 mg/Lのエチレングリコールが1～2週間で100%分解されたと報告されている。

非生物的：OH ラジカルとの反応性；

対流圏大気中では、速度定数 = 7.7×10^{-12} cm³/分子・sec(22℃)で、OH ラジカル濃度を $5.0 \times 10^5 \sim 1 \times 10^6$ 分子/cm³ とした時の半減期は 25～50 時間と計算される。

111-46-6、ジエチレングリコール：

好氣的：良分解 BOD から算出した分解度82～98%

嫌氣的：嫌気汚泥により、メタン発酵条件下、1 日で97%分解されたとの報告がある。
非生物的：OH ラジカルとの反応性；
対流圏大気中では、速度定数 = 2.09×10^{-11} cm³/分子・sec で、OH ラジカル濃度を $5 \times 10^5 \sim 1 \times 10^6$ 分子/cm³ とした時の半減期は9～17 時間と計算される。
111-76-2、2-ブトキシエタノール：
好氣的：良分解 BOD から算出した分解度 96%
嫌氣的：報告なし。
非生物的：OH ラジカルとの反応性；
対流圏大気中では、速度定数 = 2.3×10^{-11} cm³/分子・sec (25℃) で、OH ラジカル濃度を $5 \times 10^5 \sim 1 \times 10^6$ 分子/cm³ とした時の半減期は8～17 時間と計算される。

生体蓄積性：

107-21-1、エチレングリコール：濃縮倍率：魚類(Golden ide)；10(3 日後)，藻類(Chlorella fusca)；190(1 日後)
111-46-6、ジエチレングリコール：報告なし。
111-76-2、2-ブトキシエタノール：報告なし。

土壌中の移動性：

データなし

オゾン層への有害性：

107-21-1、エチレングリコール：該当せず
111-46-6、ジエチレングリコール：該当せず
111-76-2、2-ブトキシエタノール：該当せず

追加環境毒性学情報：

製品は、前処理（生物学的下水処理場）なしに、自然水系に流さないほうがよい。地域の排水規定を守ること。この混合物のデータはない。

13 廃棄上の注意**廃棄物処理方法****製品/包装材料の廃棄**

危険有害性をもたらす廃棄物の特性：

生殖毒性 刺激性 可燃性 生態毒性

廃棄物処理方法のオプション

適切な廃棄方法/残余廃棄物：

廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

適切な廃棄処理/汚染容器と包装：

汚染された包装容器は、中身を完全に空にしなければならず、適切な洗浄後、再利用することができる。洗浄できない包装容器は、廃棄物として処理しなければならない。

注意事項：

認可を受けた廃棄物処理業者に引き渡すこと。当局の規定に従って処分すること。

14 輸送上の注意**国連番号**

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当

国連輸送名

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当

国連分類

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当

容器等級

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当

環境に対する有害性

陸上輸送 (ADR/RID)	非該当
内陸水運 (ADN)	非該当
海上輸送 (IMDG)	非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	非該当

MARPOL 条約73/78附属書II及びIBC
コードによるばら積み輸送

非該当

海洋汚染物質

非該当

国内規則がある場合の規制情報

陸上輸送：	消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。
海上輸送：	船舶安全法、港則法に従う。
航空輸送：	航空法に従う。

15 適用法令**毒物及び劇物取締法：**

本製品は毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物には該当していない。

労働安全衛生法第五十七条 表示物質：

C. I. PigmentWhite6;酸化第二鉄 (赤色酸化鉄) ;カーボンブラック;
C. I. PigmentBlue15:4;C. I. PigmentGreen7;硫酸バリウム;水酸化アンモニウム;
ジエチレングリコール;プロピレングリコールモノメチルエーテル;パラフィンワックス;
エチレングリコール;

労働安全衛生法第五十七条の二 通知物質：

C. I. PigmentWhite6;酸化第二鉄 (赤色酸化鉄) ;カーボンブラック;
C. I. PigmentBlue15:4;C. I. PigmentGreen7;ブチルセロソルブ;硫酸バリウム;水酸化
アンモニウム;ジエチレングリコール;プロピレングリコールモノメチルエーテル;
パラフィンワックス;エチレングリコール;2 - ジメチルアミノエタノール;

労働安全衛生法第五十七条 表示物質(令和8年以降施行分)：

テキサノール(2026/04/01施行);

労働安全衛生法第五十七条の二 通知物質(令和8年以降施行分)：

テキサノール(2026/04/01施行);

労働安全衛規則第577条の2第3項に基づくがん原性物質：

該当せず

労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則：

該当せず

労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則：
該当せず

労働安全衛生法 がん原性に係る指針対象物質：
該当せず

労働安全衛生法 強い変異原性が認められた化学物質：
該当せず

労働安全衛生法 鉛・四アルキル鉛中毒予防規則：
該当せず

労働安全衛生規則第577条の2 第2項に基づく濃度基準：

112-34-5、2-（2-ブトキシエトキシ）エタノール、八時間濃度基準値60mg/m³；
1333-86-4、カーボンブラック、八時間濃度基準値0.3 as Respirable
Particle/mg/m³；107-21-1、エチレングリコール、八時間濃度基準値10ppm短時間濃
度基準値50ppm；107-98-2、1-メトキシプロパン-2-オール、八時間濃度基準値
50ppm；

労働安全衛生規則第 594 条の2 第1項に規定する皮膚等障害化学物質：
107-21-1、エチレングリコール、皮膚吸収性；

化学物質管理促進法（PRTR）：
該当せず

消防法：
該当せず

化審法：
優先評価化学物質：
エチレングリコール 2-230；エチレングリコールモノイソプロピルエーテル 2-
410；ジエチレングリコールモノブチルエーテル 2-422, 7-97；ブチルセロソルブ 2-
407；

水質汚濁防止法：
指定物質：1309-37-1、三酸化二鉄（I I I）；147-14-8、ピグメントブルー- 1
5；1328-53-6、ピグメントグリーン- 7；
有害物質：1336-21-6、水酸化アンモニウム；

土壌汚染対策法：
該当せず

大気汚染防止法：
揮発性有機化合物（VOC）：107-21-1、エチレングリコール；107-98-2、1-メ
トキシ-2-ヒドロキシプロパン；111-76-2、2-ブトキシエタノール；112-34-
5、2-（2-ブトキシエトキシ）エタノール；109-59-1、2-イソプロポキシエタ
ノール；
有害大気汚染物質：147-14-8、ピグメントブルー- 1 5；1328-53-6、ピグメントグ
リーン- 7；

特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：
該当せず

危険物船舶運送及び貯蔵規則：
該当せず

航空法施行規則：

該当せず

16 その他の情報

参考文献：

JIS Z 7253-2019_GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル・作業場内の表示及び安全データシート (SDS)、 JIS Z 7252-2019_GHSに基づく化学物質等の分類方法、 Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS) 6th revised edition by UNITED NATIONS、 緊急時応急措置指針「ERG 2016版」容器イエローカードへの適用、 経済産業省発行事業者向けGHS分類ガイダンス平成25年7月、 独立行政法人製品評価技術基盤機構監修のGHS分類物質一覧、 一般財団法人化学物質評価研究機構 (CERI) 公開の化学物質ハザードデータ集。

責任の限定について：

本記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。